

# 2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」開催のご報告

---

一般社団法人海外鉄道技術協力協会

# 2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 実施体制及び参加企業・団体

## 人材育成プログラム開催概要

- ・ 実施期間：2025年2月3日(月)～2月7日(金)
- ・ 開催場所：JICA市ヶ谷(東京都新宿区市谷本村町10-5)
- ・ 参加人数：34名

## 人材育成プログラム実施体制

- ・ 主催：一般社団法人海外鉄道技術協力協会
- ・ 後援：国土交通省、経済産業省、一般社団法人日本鉄道車両工業会
- ・ 共催：独立行政法人国際協力機構
- ・ 日本鉄道システム輸出組合

## 参加企業・団体(全33社・団体)

業種	会社名・団体名
鉄道会社	JR東日本、JR東海、JR西日本、JR九州、JR貨物、東京メトロ、東急電鉄、阪急電鉄
車両メーカー	日立製作所、川崎車両、三菱重工、日本車輛製造、総合車両製作所、近畿車輛
機器メーカー	日本信号、京三製作所、大同キャスティングス、菅沼製作所
コンサルタント、建設会社	オリエンタルコンサルタンツグローバル、日本コンサルタンツ、日本工営、鉄建建設
商社	住友商事、三井物産、伊藤忠商事、三菱商事、双日、JR東日本商事
国及び独立行政法人等	国土交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、鉄道・運輸機構(JRTT)、海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)

# 2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 実施スケジュール

## セッション①② (要説編 + スキル実践編)

凡例： 知 座学・知識中心 演 演習・ワーク中心

	講座・演習等	所要	講師
<b>■2月3日(月)</b> 7.0h			
AM	キーノート・スピーチ <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	0.5h	森地先生
	我が国の国際外交戦略 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1.0h	外務省
PM	海外インフラ・プラント輸出戦略 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1.0h	経済産業省
	鉄道インフラの海外展開 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1.0h	国土交通省
	我が国のODA 戦略と鉄道分野の協力 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1.0h	JICA
	日本貿易振興機構の取組み <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	0.5h	JETRO
	ネットワーキングイベント <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	2h	
<b>■2月4日(火)</b> 7.5h			
A	アイスブレイキング (自己紹介、マインドセット) <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	0.5h	TAO
M	海外鉄道マーケット動向と日本企業の活動状況 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1.5h	NRI
P M	海外の鉄道事業運営形態と参画への第一歩 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	NRI
	日本の鉄道運営(O & M) <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	JR東日本
	鉄道プロジェクトマネジメントシミュレーション <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	3.5h	TAO・OCG
<b>■2月5日(水)</b> 7.5h			
AM	海外納品における車両製造マネジメント <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	LTM
	国際入札プロセス <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	OCG
P M	モビリティ分野のDX動向と施策動向 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	NRI
	海外都市開発と鉄道の関係・動向 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	NRI
	ワーク説明・自社参入機会検討ワーク時間 <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	2h	NRI
	ワーク説明・自社参入機会検討ワーク時間 <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	1.5h	NRI

	講座・演習等	所要	講師
<b>■2月6日(木)</b> 6h			
AM	鉄道プロジェクトにおける提案演習 <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	2h	TAO・OCG
PM	鉄道プロジェクトにおける貿易実務 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	1h	(株) マウンハー フジャパン
	鉄道プロジェクトにおける事業リスクと財務分析 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span> <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	3h	三井物産オルタ ナティブインベスト メンツ (株)・ TAO
<b>■2月7日(金)</b> 7.5h			
AM	契約交渉ロールプレイ <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	2h	TAO・OCG
PM	日本の特殊性からアプローチする異文化理解 <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	2h	TAO
	最終ラップアップ <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	1.5h	NRI
	ネットワーキング交流会 <span style="background-color: #FFA500; color: white; padding: 2px;">演</span>	2h	

オンラインで開講。受講生は聴講を希望する国を選択して受講

2/26(水) 18時～	イギリス国の事情 (ビジネス総論、 鉄道概況、鉄道プロジェクトマーケット、現地実務) <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	2.5h	JETRO、大使館、 Hitachi Rail
2/27(木) 13時半～	フィリピン国の事情 (ビジネス総論、 鉄道概況、鉄道プロジェクトマーケット、現地実務) <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	3.5h	JETRO、大使館、 JICA、東京メトロ
2/28(金) 14時半～	インドネシア国の事情 (ビジネス総論、 鉄道概況、鉄道プロジェクトマーケット、現地実務) <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">知</span>	3.5h	JETRO、大使館、 JICA、PT.KCI

注) NRI:(株)野村総合研究所 OCG:(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル  
TAO:(株)TAO Partners LTM:LTMソリューションズ(株) PT.KCI:インドネシア通勤鉄道会社

# 2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 当日の実施の様子

## ■キーノート・スピーチ(森地教授)



## ■鉄道プロジェクトマネジメントシミュレーション(TAO・OCG)



## ■海外の鉄道事業運営形態と参画への第一歩(NRI)



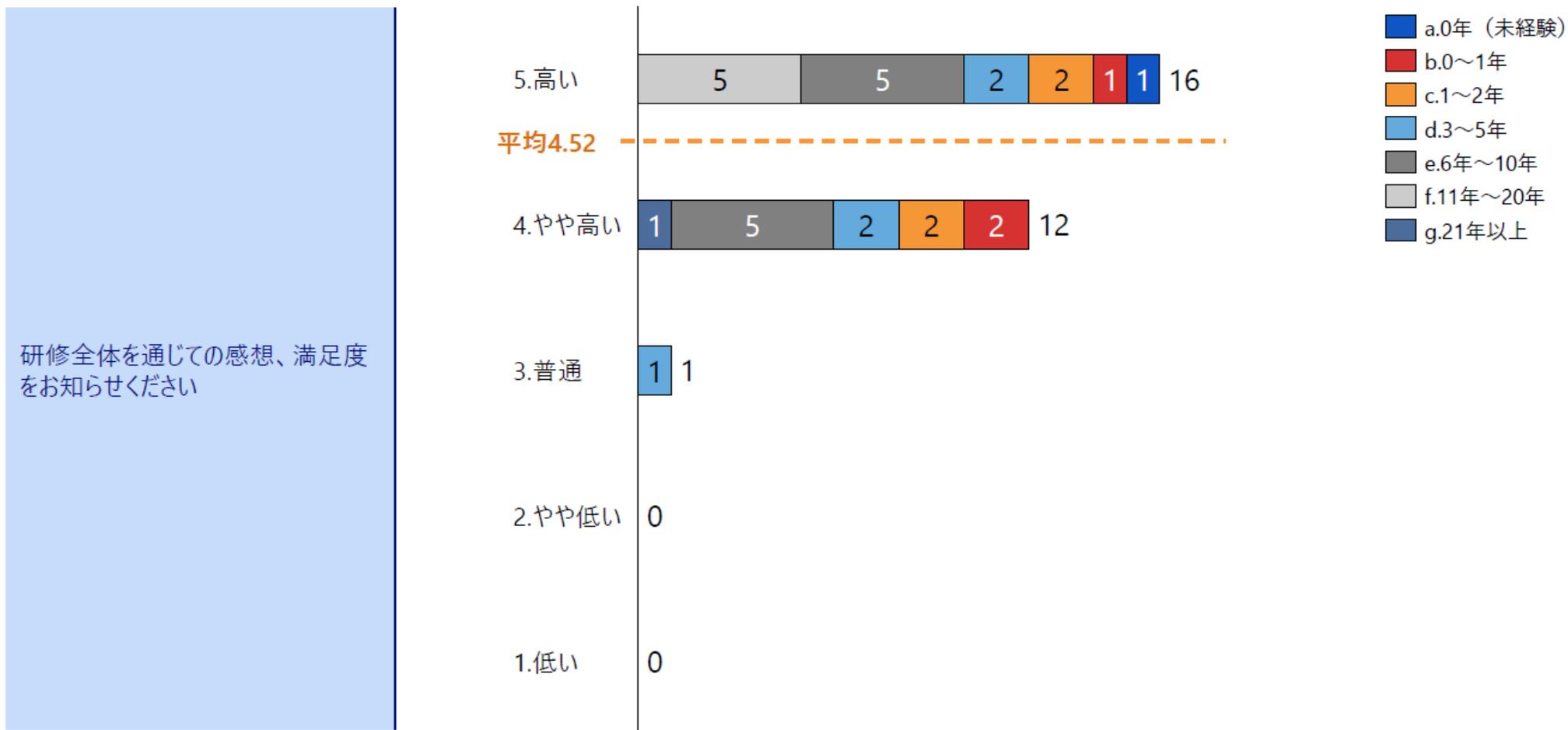
## ■研修生集合写真



# 2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 アンケート結果

総合満足度（海外業務経験年数（通算）ごと）

N=29人



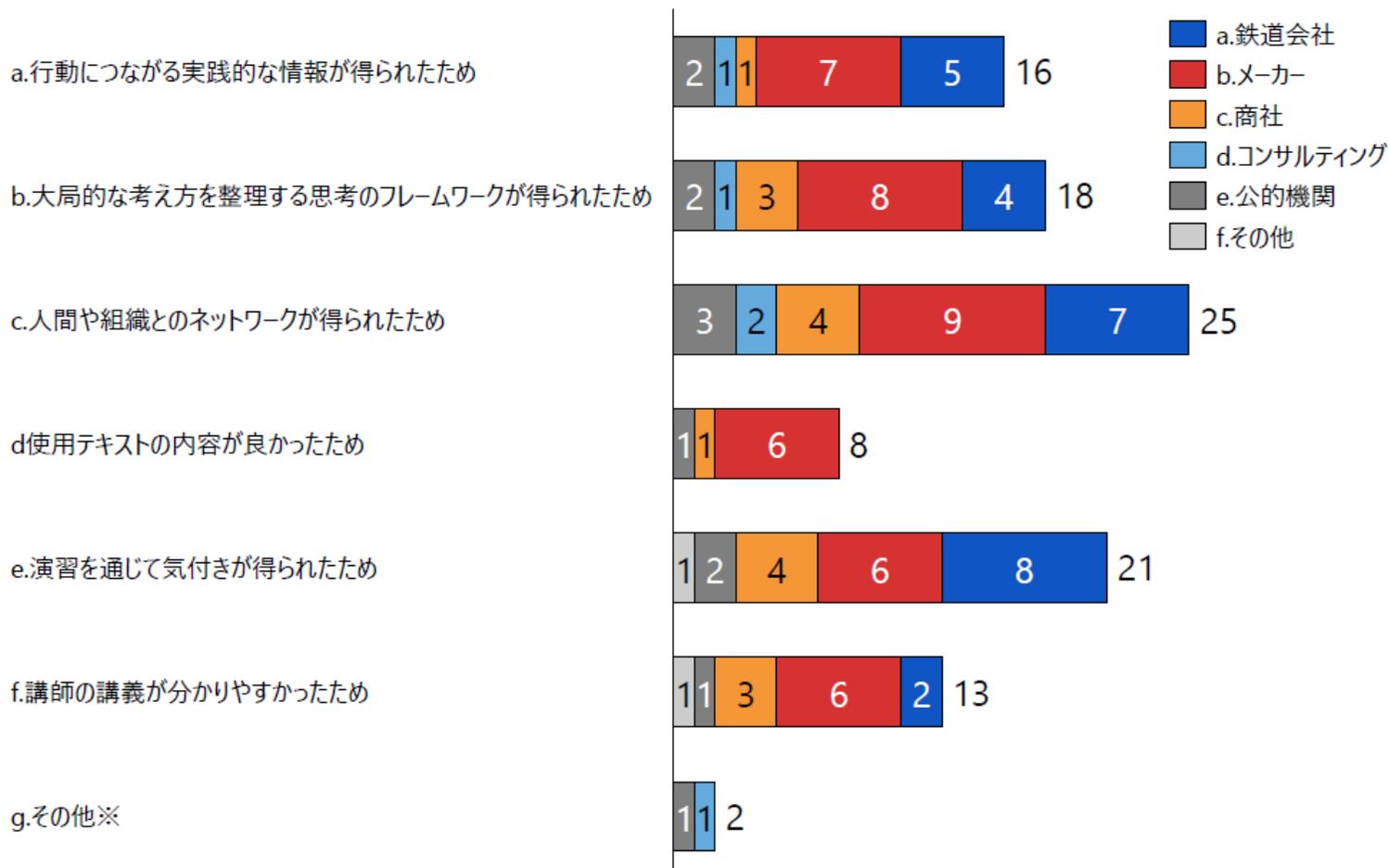
⇒研修全体の平均満足度は4.52であり、回答者の9割以上が高回答（4以上）であった。

# 2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 アンケート結果

具体的な理由（所属業界ごと）

N=29人※複数回答を含む

「5.高い」「4.やや高い」「3.普通」を選んだ理由について、当てはまるものを選択ください



※「5.高い」を選んだ回答者の自由回答として「実際の企業の方々の力を目のあたりにできた」があった。

⇒満足度の理由として最も多かった項目は「人間や組織のネットワークが得られたため」であった。過半数が、a.実践的情報、b.大局観・フレームワーク、e.気づきといった4項目以上を選択した。

日本政府の外交・インフラ展開の方針から、個別プロジェクトの進め方やプレゼンテーション・契約交渉の技術に至るまで、十分に準備されたプログラムを5日間という限られた期間に集中して学ぶことが出来た。講義だけでなく、随所に演習が織り交ぜられており、他の参加者と一体感を得ながら研修が進められた点も良かった。プログラムの一部は、日本人社員だけでなく海外拠点のローカル社員にも受講させたいと感じた。 (業種:鉄道会社)

1週間のプログラムを通じて、普段知る機会の少ない上流部分の動きを理解出来たことは、大きな成果の一つである。また、各企業との横の繋がりが構築出来たことも重要な成果であった。自社参入機会検討ワークでは、日本の鉄道インフラ輸出における勝機について深く考えさせられた。今回の演習を通じて得た知見を社内で共有し、メーカーとしてどの部分に勝機があるのか常に模索していきたいと思う。 (業種:車両メーカー)

- ・非常に野心的な取り組みで、参加の機会が与えられて光栄に思っています。
- ・「弱いつながり（＝頻繁に会うことはないが、向こう10年間何か知見が欲しい時に声を掛け合える関係）」の構築を強調することはよかったです（心理的負担が軽減しました）。これまでは他社とやり取りする際は、限られた時間で、お互いの異なる立場がある中でコミュニケーションをとる機会しかなかったですが、各社と横のつながりで同じ課題について意見交換をすることができたのは大変貴重な機会でした。
- ・座学では各省庁（国交省・経産省・外務省・JICA）のプレゼンをまとめて聞くことができました。これまで断片的な理解でしたが、各省庁の役割・鉄道事業への取り組み姿勢・最新の政策について、理解を深めることができました。
- ・グループワークは、内容によって同じ業界・異なる業界で集まって色々な方と意見交換をしましたが、業界が異なると課題に対する視点や切り口、その深さが全く異なり興味深かったです。
- ・運営側が講義の構成に苦慮している印象を受けました。これだけ幅広い分野から集まって、さらに競合関係もある状況の中で、全員に何かを持って帰ってもらう研修にする必要があったところが難しかったと思います。競合関係を遠慮してなのか、少し表層的な内容が多かった印象を受け、第2回に向けた課題と感じました。 (業種:機器メーカー)

まずは、今回多彩な講師のみなさまが含蓄ある講義および実りある実技を提供して下さったことに感謝したい。普段コンサルタントとして設計、施工にしかあまりかかわったことがなく、事業者や商社の方のビジネスに対する考え方や意見を聞けるのも大変良い機会であった。普段JICA事業や借款事業に携わり海外の公の機関と接触していると、どうしても「ビジネス」という観点が抜けてしまうが、途上国の国鉄の収支改善などのプロジェクトに対しては、今後この研修で学んだことを思い出しながら業務を行いたい。 (業種:コンサルタント)

野村総研のセッションにおいて得られた知識が多く、また、TAO Partnersのインタラクティブなセッションが特に楽しく参加できた。後者については、幾つか実施されたアクティブなグループワーキングで、本邦鉄道業界の様々な会社から来た参加者とそれぞれのバックグラウンドを活かした知見を結集する過程で、普段はできない視点でのディスカッションが出来たことが稀有な機会であり忘れ得ぬ思い出となった。 (業種:商社)

開講初年度ながら、幅広い業種から受講者を集めたり、講義と演習とをバランスよく組み合わせたり、演習のシナリオも途上国での鉄道工事やビジネスを想定したリアリティの高いものにするなど、プログラム全体として大変よく練られていた。講義はその分野の専門の講師が務めており、受講者を飽きさせない内容・進行となっていた。上記講義・演習に加え、受講者間のネットワーキング強化が本研修の最大の意義である。

メインの受講者が30代から40代前半であり、グループによっては研修終了後に飲みに行くなど受講者間での活発なネットワーキング活動も見られた。当方もほぼ全員との名刺交換を行うことができ、普段は接する機会の少ない鉄道事業者や車両メーカーとのコネクション作り、各社の動向の情報収集に役立った。この手のプログラムの場合、上記のようなコネクションが俗人化して持続しないという課題があるため、この点を克服仕組みづくりが求められる。 (業種:行政機関)